

まちかどトピックス

地域の催しや明るい話題などがぎっしりありましたら、気軽に広報係までご連絡ください。
☎43・5204(秘書課)



全国大会出場！ ヤング淡路

中学硬式野球 第25回ヤングリーグ春季大会出場

◆中学硬式野球 「出場チーム」ヤング淡路

南あわじ市を中心に活動する中学硬式野球クラブ「ヤング淡路」が、全国大会の第25回ヤングリーグ春季大会(3月25日〜27日、岡山県倉敷マスカット球場)への出場が決定し、3月13日に市役所で壮行会が開かれました。

「ヤング淡路」は、平成26年8月の創部で、南あわじ市B&G海洋センターグラウンドをメイン練習場に活動しており、昨年12月に淡路市で開催された兵庫東支部予選大会において、みごと1位通過し、創部2年3か月で全国大会出場のキップをつかみました。

壮行会では、新3年生7人が代表出席して、練習の成果を発揮し、チーム一丸となって優勝をめざす意気込みを一人ひとり力強く語りました。



▲後列左から高橋さん、河野さん、榎勢さん、雨堤さん、前列左から富岡さん、鳥取さん、豊原さん

親子のふれあいを深めてもらうことを目的に「南あわじ市子育て力向上推進協議会」が企画した「ゆめるんフェスティバル」が2月26日、文化体育館で開催されました。

NHK Eテレ「フックブックロー」で活躍中の歌手、谷本賢一郎さんのファミリーコンサートでは、代表曲である「なまえ」をテーマに、事前に参加者らに募った名前のエピソードを紹介。参加者らは、

米粉を使ったお菓子の料理教室

南あわじ市米粉利用推進協議会



▲出来上がった米粉を使ったお菓子

ゆめるんフェスティバルを開催！

谷本賢一郎さんファミリーコンサートに親子ら約1200人参加

名前の親の思いや愛情が込められた人生最初の大切な贈り物であることを実感していただきました。また、谷本さんがゆめるんなどのゆるキャラと共演。子どもたちは舞台前に集まり、曲に合わせて一緒に踊っていました。

コンサート終了後、子どもたちは、警察官や消防士の制服を試着し、パトカーやはしご車などに乗車していたほか、ハンドメイドショップなどで手



▲パウンドケーキ



▲ふわふわパンケーキ、あんまん

としているので、ふるいの作業がいらす、手間がかからないなど、米粉を使うときのコツなどを教えてもらいながら、楽しく調理を進め、美味しいお菓子が完成。同協議会では「米粉の美味しさと特性を知ってもらって、米粉をどどん家庭で使って頂いて普及拡大につなげたい」と話しています。



▲谷本さんとゆるキャラの共演に喜ぶ子どもたち

おめでとう

畑崎記念ファッショナブルエージング賞

◆健康づくり分野

山田 俊輔さん(賀集)



山田俊輔さんは、卓球で長年にわたり高校や実業団、子ども教室、指導者講習会で指導を続けてこられ、淡路島で全国から集まるジュニア大会を開催するなど、卓球競技の普及と発展に尽力されています。卓球を通じて健康づくりと青少年育成に大きく貢献されていることから、大手アパレルメーカー「ワールド」創業者の畑崎廣敏さんが創設した畑崎財団から「第4回畑崎記念ファッショナブルエージング賞」が贈られました。

松帆銅鐸が一時帰国！

弥生時代の青銅器「松帆銅鐸」



▲松帆銅鐸の実物の展示

市内で平成27年に発見された7個の弥生時代の青銅器「松帆銅鐸」は、棒状の「舌」と紐の繊維も付着して発見され全国的な大発見として注目を集めました。

現在、松帆銅鐸は奈良文化財研究所で調査が進められています。3月に南あわじ市に一時帰国してイベントが開催されました。

3月5日には中央公民館で専門家によるトークセッションが行われたほか、松帆銅鐸の実物

また、玉青館では松帆銅鐸の一時帰国展が3月26日まで催され多くの来館者を魅了しました。



▲松帆銅鐸のミニチュア铸造体験

たまねぎや「アラ」、銅鐸などのイラストがずらり

南あわじ市オリジナルマスキングテープが完成



▲マスキングテープ
規格：全長10m、幅2.4cm
販売価格：1個500円
販売場所：秘書課・観光施設など
イラスト：ページ上部参照
図秘書課 ☎43-5204

テープ」が2月25日に完成。市内の観光施設等で販売され、購入者から好評を得ています。

イラストは、市内在住の子どもたちや福祉施設利用者の人が「南あわじ市といえは？」と題して思い浮かんだものを描写した絵から作成したもので、「南あわじ市のええところ」がたっぷり詰まったものとなっています。ぜひ、ラッピング用等にお買い求めください。

淡路島観光協会

世界遺産登録をめざす鳴門の渦潮が春の大潮となった3月12日、淡路島びらき「うずしお



▲和太鼓「美鼓音」による和太鼓演奏で観光客を歓迎



▲南淡中学校郷土芸能部による淡路人形浄瑠璃「戎舞」



▲兵庫県立考古博物館長の和田晴吾さん(右)、島根県立八雲立つ風土記の丘所長の松本岩雄さん(中央)、奈良文化財研究所客員研究員の難波洋三さん(左)によるトークセッション